



国際野外アート展

トロールの森2014

まちと森をつなぐかたち

2014.11.3(Mon)~11.23(Sun)

会場：都立善福寺公園（上池）とその周辺

ART WORKS

ニジムリズム NIJIMURHYTHM

後援 東京都・杉並区・杉並区教育委員会
協力 杉並区立桃四コミュニティスクール
都立善福寺公園
関東バス株式会社
遊工房アートスペース
ゆうゆう善福寺館

主催 トロールの森2014 実行委員会

www.trollsinthepark.com

都立善福寺公園（上池周辺）ART WORKS & WORK SHOP EVENT

鑑賞：随時可 ※イベント・ワークショップは裏面スケジュールをご覧ください

1 アマフラ 祈服 Event

日常の服とは違うもの 日常の衣布という普段から身に付けている身近なものが少し離れた存在になる 日本を一度外から見て日本を想う 日本へのオマージュ

2 池ヶ谷 務 やわらかな重力

森に漂う空気の影響

3 岩城 和哉+東京電機大学岩城研究室 歪

塩ビ板の備える性質（弾力、屈曲、反射、透過）を利用して、善福寺公園という場所の特性（風、光、水、空、植物、生物、重力、など）を魅力的に増幅してくれるような作品を作りたいと思います。

4 岩田 茉莉江 音みみ鏡 Event+展示

善福寺公園に現れては消える音たち…。目を閉じ耳を澄まして音を探し、音のをぞく道具「音みみ鏡」を作るワークショップを行います。出来上がった「音みみ鏡」をのぞきながら、みんなが見つけた善福寺公園の音風景を紹介し合う音みみツアーを行います。 ※23日のみ展示作品をご覧ください。

5 SiO PANDORE2014-オルフェの楽譜くヴァージョン・ニジムリズム

パンドラの箱に眠っていたオルフェは、木陰に隠れるようにして存在するトロール(ORPHES)になった。虹色メッセンジャーは、西暦2014年の箱に隠された特殊言語的楽譜「ニジムリズム」を密かに組み立てはじめた。

6 黒野 裕一郎 Ventricular Forest

いつも制作において考えているキーワードは：時間、瞬間、記憶、記録、潮流、連続、接続、腔、習慣、循環、器械、器官、欠陥、積層、踵、森

7 サム・ストッカー 秘密らしいです

私の作品は、展覧会が開催される地域周辺の空間や歴史に対するレスポンスです。子供たちに善福寺について質問し、その答えに基づいて作品を作ります。

8 高島 亮三 世間地図

善福寺公園近隣の桃四コミュニティスクール6年生の少年・少女達に「嫌いな自分」を表現してもらいます。「嫌いな自分」の集積体は、それはそれは汚らしくて醜い世界になってしまうのか？ 嫌いな自分を好きになるための、トロールの森の中年妖精からのメッセージ。
※善福寺公園サービスセンターギャラリー内 9:00~17:00 無休

9 田口 綾子 交差する世界

「こんな場所にアート作品が!？」アート作品と公園を訪れた人々との偶然と考えるような必然な出会い。私達も偶然と必然の世界の中で生きている。

10 塚本 万里 あきいろカーテン 常設作品+Event

秋の自然から抽出した色を、善福寺公園の木々が並み立つ空間に展開します。

11 丹尾 敏 種について

地球の地中心までの層と宇宙と呼ばれる果てまでの空(くう)の層を意識することで、地に立っていることを何かしら別認識できるのではないだろうか。

12 西山 仁 木波

森の中に木で波をつくる。



- ※ 1 アマフラ 上池周辺
- ※ 13 ボリス・シャーカ 展示場所は10月中旬決定
- ※ 14 松田 絵梨子 作品はこの他2カ所あります
- ※ 17 水谷俊博+武蔵野大学水谷研究室 作品は対岸にもあります

周辺駅から善福寺公園までの交通

- 西荻窪駅
 - JR中央線 北口 徒歩22分
 - JR中央線 北口 バス2番 「武蔵関駅」行き 「善福寺」バス停徒歩5分 「桃井第四小学校」又は「善福寺」バス停 徒歩5分
- 荻窪駅
 - JR中央線・地下鉄丸ノ内線
 - バス0番「北裏」又は「武蔵関駅」行き 「東京女子大学前」バス停徒歩10分
 - バス0番「南善福寺」行き 「善福寺公園」バス停前
- 吉祥寺駅
 - JR中央線・京王井の頭線
 - バス3番「西荻窪駅」行き 「東京女子大学前」バス停徒歩10分
 - 上石神井駅
 - 西武新宿線 南口 徒歩15分

13 ボリス・シャーカ Some Time Ago 常設作品+Event

掛布とは美術史の中で基本的な要素であり、古代では権威や地位を示した。そして布の品質によって職人の美的センスを批評する意義も持つ。今回の作品においては、掛布を用いることで、長く使われなくなったものや忘れられたものを生き返らせて、新たな機能を与える。

14 松田 絵梨子 Cut out view 風景を切り取る

存在をあるがままに映す鏡。設置場所や対象物によってタイトルが変わるインスタレーションです。割れたように加工した鏡に断片的に映し出されるかけがえのない存在について考え、再認識してゆきます。

15 マヤ・ラマ プレートタイム

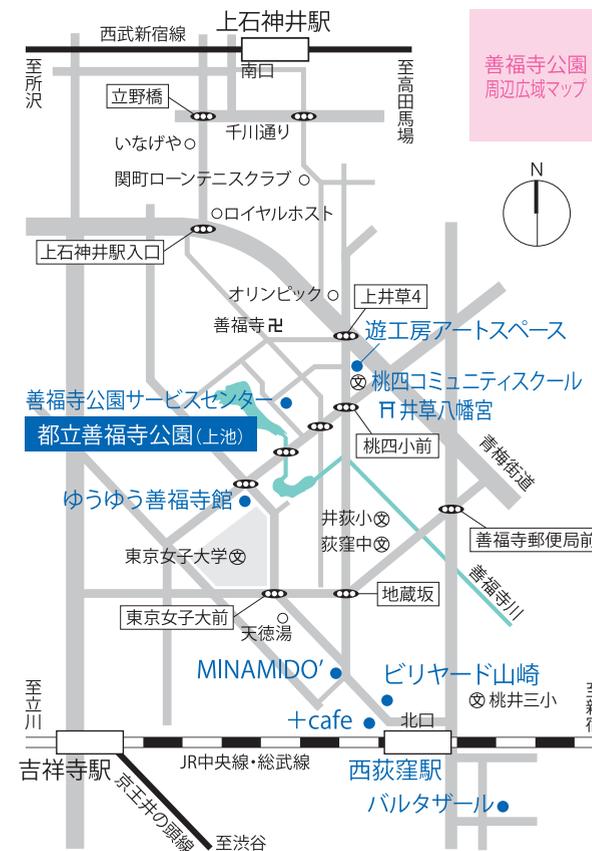
この作品は、アートと自然の関係を探るインスタレーション。自然の木が絵の舞台であると同時に、絵も木の舞台となる。こうして、公園の木々は、作品の一部であると共に作品の背景でもある。

16 三木 祥子 eARTh #14-11 常設作品+Event

「フェアトレード」のコーヒー豆麻袋を廃材利用し制作する作品を通して、そこにある自然環境を五感で親しんでいただけるような空間を提供し、公園でのリラクゼーションを共有したい。

17 水谷 俊博+武蔵野大学水谷研究室 森のイエ

まちと森を繋ぐ暮らしとはどんなものだろう。家に引きこもることなく、森の中へどんどん飛び出していく景をつくる。森に佇む「イエ」と、池の対岸で揺れる「ファンチャー」。まちと森、イエと自然の姿、表裏一体の関係が公園にニジムリズムを生み出していく。



18 水野歌鳳グループ 和敬清寂 和敬清寂

茶道の精神を表す禅語として「和敬清寂」と言う言葉がある。「和」は人の調和を重んじ、「敬」は他人の人格を尊重する、「清」は清らかであり物と心の清浄潔白を云う、そして「寂」は閑寂、静かなこと、心の落ち着きを意味する。この善福寺公園にふさわしい和敬清寂を竹のインスタレーションで表現する。

19 村上 裕太 ここにいる

この公園を住処にした亀をつくります。

20 矢野 華風 It feel's Event

公園の土や葉っぱ、枝などを使って作った筆で、大空のもとパフォーマンス書道を行います。大人も子供も一緒に楽しめるワークショップで、自然を体感し溶け込み一体化します。

21 山本 健 パークレジデンス善福寺プロジェクト 常設作品+Event

本作品は善福寺公園を使ってアーティストインレジデンス(以下AIRと記す)を行うプロジェクトです。「芸術家の滞在」を意味するAIRですが、日本国内ではまだまだ馴染みが薄く「レジデンス」で想像するものは「高層マンションなどの建築物」なのかもしれません。

周辺エリア

22 遊工房アートスペース 12:00~19:00 月・火 休廊 (初日3日は開廊)

凹地企画 村上 郁 個展「Bulb Cites」

プライベートな空間の一部で、他人の所有物であった絵ハガキと切れた電球の素材を組み合わせ、ドキュメンタリーとフィクションの間を行き来しながら、現実の再現性の危うさ・忘れること・記憶することを問いかける作品をインスタレーションとして再構成。

ボリス・シャーカ 展

ボリス・シャーカは、欧州文化首都と遊工房の交換プログラムで3ヵ月滞在のアーティスト/スロバキア。善福寺公園でも展示予定。

オープニングパーティー 場所:ピリヤード山崎

11/3(月・祝) 17:30~(予定)

関連イベント 桃四コミュニティスクール企画

トロールの森2014 鑑賞授業

11/10(月) 10:45~12:00 予備日11/12(水) 9:00~10:15
4年生を対象にした「トロールの森」を体感する授業。「見つけたシート」を持って子供たちが作品鑑賞するほか、アーティストと交流。

ももしフェスティバル 11/15(土) 8:50~12:20

桃四コミュニティスクールの児童たちによる演劇と合唱合奏の発表会の、保護者や地域を対象とした鑑賞日。パフォーマンス部門のスカベッキも参加。

トロールの森2014 実行委員会
〒167-0024 東京都杉並区上井草4-6-2 (野田方)
TEL 090(2912)6486 E-mail trollsinthepark@gmail.com